

平成 28 年度第 1 回一宮市子ども読書活動推進懇話会・  
第 1 回子ども読書活動推進会議合同会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成 28 年 8 月 24 日（水）午前 10 時～正午
- 2 開催場所 中央図書館 6 階 多目的室 1
- 3 出席者 懇話会委員： 9 名（欠席 1 名）  
推進会議委員： 13 名（欠席 2 名）  
事務局： 8 名
- 4 議 題
  - (1) 一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
  - (2) 一宮市子ども読書活動推進計画（第 3 次）について
  - (3) その他
- 5 開 会 （事務局が開会を宣言）  
「子ども読書のまち宣言」唱和  
教育長挨拶  
懇話会会長挨拶
- 6 会議録（要旨）

議事進行は、会長が務めた。

（会長） 議題（1）について説明をお願いします。

（事務局） 一宮市子ども読書活動推進計画（第 2 次）の成果について説明。

（会長） 28 年度が第 2 次計画の目標値の最終年度になる。来年の 3 月までに、第 2 次計画で 5 年ほど前にかかげた目標値を達成しているのかいないのか、その目標が達成できるように提言できることや事業内容についてのご意見をいただきたい。

（委員） 小中学校の先生方は、PTA の読み聞かせについての情報を提供していただくと広がりも出てくると思う。

（学校教育課） PTA の読み聞かせは、ほぼすべての学校で PTA や読み聞かせボランティアの方に協力いただき、月に 1 回くらい実施している。

（委員） 26 年度から学校図書購入費が減額されていることについて

（教育総務課）学校図書冊数が目標値である標準冊数の 1.2 倍という 120%という目標を達成した。これ以上の図書購入費の増額の理由づけが難しい。また、今学校は施設の方に予算が必要。今ある図書購入費の中でよい本を上手に選択していただくようお願いする。

（学校教育課）小中学校の図書館司書は、今まで以上に時間をかけて図書購入に努めている。その結果、新しい本を敏感に子どもたちに紹介し提供している。

（委員） 児童クラブの団体貸出について

（事務局） P R が足りないが児童クラブも学校、保育園、児童館と同様に団体貸出できる。

（会長） さらに P R を進めようお願いします。

（委員） 学校で配布している図書館だよりを児童に児童クラブや児童館でも配布すれば団体貸出の新しい本の P R ができる。

- (教育総務課) 各小中学校の図書購入費はその児童、生徒数に応じて配分している。それで配分された予算中で、司書の方々にお考えいただいて本を買っている。
- (委員) ブックスタートの絵本配布率 100%を達成できたのは、配布時期を 9 か月児健診から 4 か月児健診に変えたことが影響しているのか。
- (事務局) 9 か月健診はすべての方がお見えになるというわけではないが 4 か月健診は 100%に近い方がお見えになる。ご欠席の場合は保健師が、自宅に訪問して渡している。
- (委員) 主任児童委員さんとブックスタートボランティアさんが「なぜブックスタートをするのか」ということを、学ぶ場としての勉強会の開催してほしい。
- (事務局) 27 年度、ブックスタートボランティアさんと主任児童委員さんの交流会に保健センターの保健師さんと子育て支援センターの保育士さんを招いて研修会を開催した。今年度、それを継続、発展させたいということで、東京のブックスタートセンターから専門の講師を招いて、研修会の開催を予定している。
- (委員) 図書館が取り組んでいる子ども司書講座が学校の方にどういうふうにつながっているのか確認したい。
- (事務局) 子ども司書講座に参加した方は、「子ども司書」という位置づけで、地域や学校で大人のボランティアさんとタイアップして、読み聞かせなど読書推進活動の中心的な役割を担っていただきたい。
- (委員) ボランティアの思いが、学校子どもたちにつながらない。未実施であるネットワーク交流会で学校と図書館とボランティアさんと情報交換してほしい。
- (教育文化部) 学校と図書館の連携はたいへん必要で重要なことだ。全体をまとめたネットワーク交流会は未実施だが、これまでも図書館主任の先生との交流会、意見交換などを通じて取り組んできた。あとは 3 次に向けて全体をまとめてネットワーク交流会を実施していくことになる。
- (委員) 保育園児とか幼稚園児である時期は、本を読む最初の機会である。園長さんにも本の重要性について理解してもらうように少し働きかけていただきたい。
- (保育課) 今後、何らかの形で園長に対して啓発していきたい。
- (委員) 読み聞かせ等の読書指導の研修が子育て支援課の保育士は未実施で、保育課の保育園の保育士は毎年、夏実施の児童文化の研修を聞きに行つて実施になっているか？
- (子ども部) 市の組織として保育園と子育て支援センターとは課が分かれている。本来であれば子育て支援センターの保育士にも研修するのが望ましいが、現実的にある程度、保育園で保育士として経験を積んだ職員が子育て支援センターに人事異動するというので、研修あるいはそういう読み聞かせの現場をかなり経験している職員が、支援センターには配属されている。あくまでも支援センターとしての研修は未実施であるが、保育園での経験をしているのが現実である。
- (会長) 議題 (2) について説明をお願いします。
- (事務局) 一宮市子ども読書活動推進計画 (第 3 次) (案) について説明。
- (会長) 議題 (2) について担当部局で補足がございましたらお願いいたします。
- (学校教育課) 学校図書館の読書センター機能および学習情報センター機能について補足説明。

- (保育課) 27年度から開始、施行となった子育て支援新制度の中で、市町村が認可する保育事業の形態の地域型保育事業所について補足説明。
- (委員) 小学生一日図書館員体験は市内の小学校全部が対象だがどんな形で実施されるか。
- (事務局) 小学生一日図書館員体験は一日、もしくは半日、図書館に来て、図書館の仕事を体験していただく内容。現在、尾西図書館と子ども文化広場図書館は小学生を対象に、中央図書館は中高生を対象に予定。市の広報等で公募して、応募者多数は抽選を行う。
- (委員) 小学校では空き教室を利用して図書室にしているところが多い。学習や調べ物ができるスペースを考えて図書室を整備してほしい。
- (教育総務課) 行政側で図書室にして良い、悪いということは当然言えない。それぞれ学校で工夫して部屋を使用している。
- (会長) 33年度の目標値についてご意見があればいただきたい。
- (委員) 目標値の「(放課後児童保育) 夏休みなど一日保育時の読み聞かせ活動の充実」について具体的にどのような形でされるか教えてほしい。
- (子育て支援課) 放課後児童クラブにおける夏休みの読書の現状は、ほとんど館・児童クラブが読み聞かせの時間を設け実施している。またほとんどの児童クラブが自由に読書の時間を設ける形で夏休み期間中の読書推進を実施している。
- (委員) 夏休み40日間、1フロアに50人くらいの1年生から4年生の子どもたちを数人の指導員が夕方7時までずっと預かっている。毎日毎日、読み聞かせもできないが、やはり指導員の読み聞かせが大事だということを研修する時間をとることが必要だ。
- (委員) 指導員たちだけでなく、図書館関係のボランティアグループにも声をかけていただいて、もっと活用していただけたらいいと思う。
- (子ども部) 児童館と児童クラブは、お父さんやお母さんの仕事の都合で、家庭でなかなか保育できないお子さんを、ある一定時間お預かりして保育をするという趣旨ではほぼ一緒である。いかに楽しく時間を子どもたちに過ごしてもらうかを第一に考えさせていただいている。
- (会長) 議題(3)その他について、お願いします。
- (事務局) 会長の提案により次回の第2回子ども読書活動推進懇話会を9月中旬に開催し、今回のこの案について、もう一度お話を聞かさせていただく予定。
- (会長) 以上で本日の会議を終了します。
- (教育長) お礼のことば